

令和4年3月22日

記者発表

中高生の生活実態に関するアンケート調査 (ヤングケアラー実態調査)の結果について

和歌山県では、県内に潜在的に存在すると考えられるヤングケアラー（本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子供）の実態を把握し、必要な支援策を検討するため、「中高生の生活実態に関するアンケート調査」を実施しました。その概要は、次のとおりです。

- 調査の概要
 - 調査結果のポイント
 - ヤングケアラーに関する県の取組状況
- } P 2
. P 3

詳しい結果については、県福祉保健総務課ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040100/young-carer.html>

（「和歌山県ヤングケアラー」で検索）

| 問い合わせ先 | |
|--------|---------|
| 担当課 | 福祉保健総務課 |
| 担当者 | 三田・西川 |
| 電話(内線) | 2488 |

調査の概要

- 調査対象者 県内の中学校及び高等学校の2年生 15,599人
- 調査期間 令和3年10月～11月
- 調査方法 無記名式アンケート（調査票を各学校に配布し、教室にて回答）
- 回答数 14,237人
- 回収率 91.3%（＝回答数／調査対象者数）
- 調査項目
 - ・ 家族のケアの経験
 - ・ ケアの対象者・内容
 - ・ ケアの頻度・所要時間
 - ・ 自身の生活への影響
 - ・ ケアに関する悩みごとの相談経験
 - ・ ヤングケアラーに係る自己認識 など

調査結果のポイント

- 家族のケアをしているのは、全回答者の4%程度（626人/14,237人）
 - ・ 中学校2年生 4.7%（344人/7,309人）＜全国調査では5.7%＞
 - ・ 全日制高校2年生 3.9%（265人/6,805人）＜全国調査では4.1%＞
 - ・ 定時制高校2年生相当 13.8%（17人/123人）＜全国調査では8.5%＞
- ケアを必要とする家族は、高齢層（祖父母）より若年層（きょうだい）が多い
- ストレスなど生活への影響を感じているのは、家族のケアをしている回答者の約4分の1（164人/626人）で、ケアに要する1日あたりの時間が長いほど、影響を感じる傾向あり ※ 全回答者に占める割合は1.2%（164人/14,237人）
- 家族のケアをしている回答者のうち、ケアに関する悩みごとの相談経験があるのは1割強（75人/626人）で、相談先は「家族」「友人」「学校の先生」の順に多い
- 家族のケアをしている回答者における「ケア」の認識には個人差あり
 - ・ 自身がヤングケアラーにあてはまるか「わからない」が過半数（353人/626人）
 - ・ 「あてはまる」は1割強（83人/626人） ※ 全回答者に占める割合は0.6%（83人/14,237人）

「ヤングケアラー」は現時点で確立された定義がなく、「ケア」の認識には個人差が認められたが、生活への影響等に係る回答を踏まえると、全回答者の1%程度は、身体的・精神的な負荷を伴うケアを日常的に担っている可能性があると考えられる

【注】「全国調査」とは、国において令和2年度に実施された「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」をいう

ヤングケアラーに関する県の取組状況

和歌山県では、一人でも多くのヤングケアラーが学校現場から福祉の各種サービスにつながるよう、今回の調査と並行して、以下の取組を実施

○ 市町村窓口の一本化

市町村ごとにヤングケアラー関係の相談窓口を一本化し、県ホームページでも周知
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040100/young-carer.html>

(「和歌山県ヤングケアラー」 で検索)

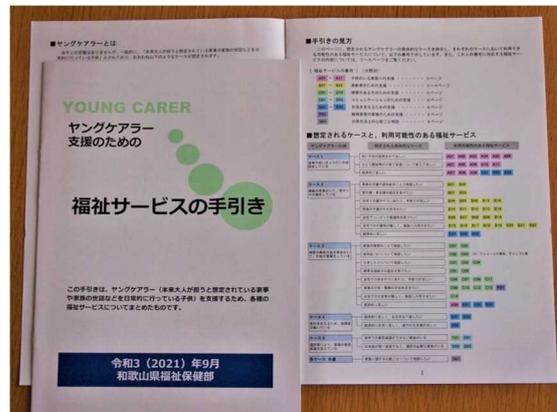
○ 中高生を対象とした啓発

- ・ 目的 … 悩みを一人で抱えないよう呼びかけるとともに、相談窓口を周知するため
- ・ 対象者 … 県内全ての中学校・高校の生徒 (約 50,000 人)
- ・ 方法 … 啓発用クリアファイルの配布
- ・ 内容 … 生徒へのメッセージと、相談窓口の案内



○ 支援者を対象とした啓発

- ・ 目的 … 相談を寄せた生徒を福祉サービスに円滑につなぐため
- ・ 対象者 … 県内全ての中学校・高校の教職員、市町村の福祉担当者、民生委員・児童委員 等
- ・ 方法 … 「福祉サービスの手引き」の配布 (約 15,000 部)
- ・ 内容 … 想定されるヤングケアラーのケースごとに、利用できる可能性のあるサービスを例示



令和4年度からは以下の取組を実施し、「見つけて、つなぐ」取組をさらに推進

○ 各学校でのきめ細かな把握

各学校において、定期的なアンケート (※) や面談等によりヤングケアラーと思われる生徒をきめ細かく把握し、福祉につなぐ取組を推進

(※) 各学校で学期に1回程度実施しているアンケートに、家族の世話についての質問項目を追加